

平成 29 年 8 月 25 日
日本工学院専門学校

学校関係者評価結果

学校関係者評価委員会会議の中で本校の行った平成 28 年度自己点検の評価についてすべての項目において了承を得た。評価委員からの主な発言は次のとおりである。

(1) 教育理念・目標

- ・概ね妥当と考える。
- ・実践的な職業教育のみならず基礎学力（例えば、提案書・報告書の作成）の向上にも力をいれるべき。
- ・世の中のニーズに合った講座の設置、著名講師の採用など十分な取り組みであると思われる。
- ・最新の設備がよく整備されている。
- ・建学の精神・教育方針・教育目標共に素晴らしい教育理念と目標である。

(2) 学校運営

- ・教育理念を元に学校運営がなされていると思う。
- ・組織、権限、規程等が整っている様子をご説明頂き充実していると感じることができた。
- ・産学連携によるインターンシップは学生にとって就職活動に有効であると思う。
- ・申し分無い。

(3) 教育活動

- ・ロボット、AI、EV など従前になかった技術、産業が生まれつつある。こうした新しいニーズに対応した人材を育成するため企業との連携が必須である。
- ・大田工連向けに提供頂いている講座は非常に評判が良い。他の講座も充実していると推察できる。インターンシップでも会員企業が受け入れているが、しっかり運営されていると感じる。
- ・新たな領域において教員の人材確保は課題であると思う。しかし積極的に活動しているものと感じる。

(4) 学修成果

- ・就職率の向上を図ることは勿論のこと卒業生を多く採用している企業に出向き、貢献度不足をヒアリングし教育目標に反映すべきである。

- ・就職率、退学率共に数値の改善が見られ評価できる。
- ・専門学校としての大切な資格取得に向けた放課後の支援プログラムや各学科共に退学率減少はとても良い。

(5) 学生支援

- ・社会問題にもなっている若い世代のコミュニケーションの向上をはかるべきである。
- ・課外活動への支援が不足していると思う。
- ・学修成果の数値の改善は、支援の結果であると推察できる。
- ・専門教科を教えるだけの学校から人間性を高める場へと要求されキャンパスライフの充実を図る視点も重視されている。

(6) 教育環境

- ・施設・設備については充実していると思うが、できれば工業実習系の設備の充実（工作機械等）もはかって頂きたい。
- ・多目的ホール、クラブハウス棟、実習棟の完成により、教育環境はより充実がはかられている。
- ・申し分ない。

(7) 学生の受入れ募集

- ・社会人の入学にも力を入れるべき。企業では新技術の進展に伴い、社員教育に苦慮しているのが実態。本校が社員教育を引き受けることが必要と思う。
- ・競争倍率が数倍となるくらいの取り組みが必要ではないか。それにより学生の質の向上と学校評価の向上のシナジー効果があるのではないか。
- ・独自の奨学金を設置して、経済的に厳しい学生に対して支援している。

(8) 財務

- ・申し分ない。
- ・充実していると推察できる。
- ・安定した学生数を確保していること、2年制・3年制・4年制の学科を設けていることから、引き続き財政基盤は安泰しているものと思われる。

(9) 法令等の遵守

- ・教育システムと業務システムを完全に分離し高いセキュリティの基で構築されている。
- ・充実していると推察できる。

(10) 社会貢献・地域貢献

- ・学園として十分である。学生が自主的に行うボランティア活動に関しては積極的に誘導し、協力すべきと思う。
- ・大田工連も大変お世話になっており、感謝している。
- ・大田区の地域団体・企業・高校に対して密接に積極的に交流を図っている。

以上

学校関係者評価表(平成29年度第1回学校関係者評価委員会)

評価項目	適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや適切・・・2 不適切・・・1	平均点
(1)教育理念・目標	4 3 2 1	4.0
(2)学校運営	4 3 2 1	4.0
(3)教育活動	4 3 2 1	3.8
(4)学修成果	4 3 2 1	4.0
(5)学生支援	4 3 2 1	3.8
(6)教育環境	4 3 2 1	3.8
(7)学生の受入れ募集	4 3 2 1	3.8
(8)財務	4 3 2 1	4.0
(9)法令等の遵守	4 3 2 1	4.0
(10)社会貢献・地域貢献	4 3 2 1	4.0
総 合	4 3 2 1	(1)～(10)平均3.9 総合の平均4.0

全体に対するコメント

- ・自己評価についてすべてこれらの通りであり納得した。この内容にて了承する。
- ・最新の設備が整備されている。
- ・世の中のニーズに合った講座の設置、著名講師の採用など十分な取組みであると思われる。
- ・組織、権限、規程等が整っている様子を説明してもらい充実していると感じた。
- ・大田工業連合会向けに開講している講座が非常に評判良い。
- ・就職率、休退学率共に数値の改善が見られ評価できる。
- ・施設、設備については充実していると思うが、工業実習系の設備の充実も図ってほしい。
- 日本工学院八王子専門学校は工業系実習設備が整っている。
- ・企業側からすると知識、技術と共にコミュニケーション力が重要と考える。更なる人間力教育を期待する。
- ・クラブ活動の支援体制を整備する際、施設の充実と共にその使用時間帯についても考えてほしい。
- 土曜、日曜または長期休み期間中などの開放も検討してほしい。
- ・総じてしっかりと運営していると感じる。より一層の向上、充実を期待している。
- ・創立70周年の記念事業の完成を弾みとして、今後も専門学校のトップリーダーとして邁進されている。
- 時代の要求に速やかに舵を切ることも必要であるが、根本となる技術者育成の概念は今後も変わることなく、学生に伝えていかなければならないものと思う。
- 教育設備のハードウェアと教師のソフトウェアが両輪となって学生がさらなる成長、日本の技術者が社会貢献していく太い柱となることに期待している。

学校関係者評価表

評価項目	適切…4 ほぼ適切…3 やや適切…2 不適切…1	コメント
(1)教育理念・目標	(4) 3 2 1	
(2)学校運営	(4) 3 2 1	
(3)教育活動	(4) 3 2 1	産学連携によるインターシップは 学生にとって就職活動に有効です。
(4)学修成果	(4) 3 2 1	
(5)学生支援	(4) 3 2 1	社会問題にもなっている若い世代の コミュニケーションの向上を
(6)教育環境	(4) 3 2 1	工学系設備？
(7)学生の受入れ募集	(4) 3 2 1	
(8)財務	(4) 3 2 1	
(9)法令等の遵守	(4) 3 2 1	
(10)社会貢献・地域貢献	(4) 3 2 1	
総 合	(4) 3 2 1	

全体に対するコメント

学園の教育理念の通り、常に時代のニーズに合った、理想的環境と
教職員のご努力で、学生の教育のみならず、地域との密接な
社会貢献があり、さらに今後の発展に期待します。